

# CMIC REPORT 2009

## シミックレポート

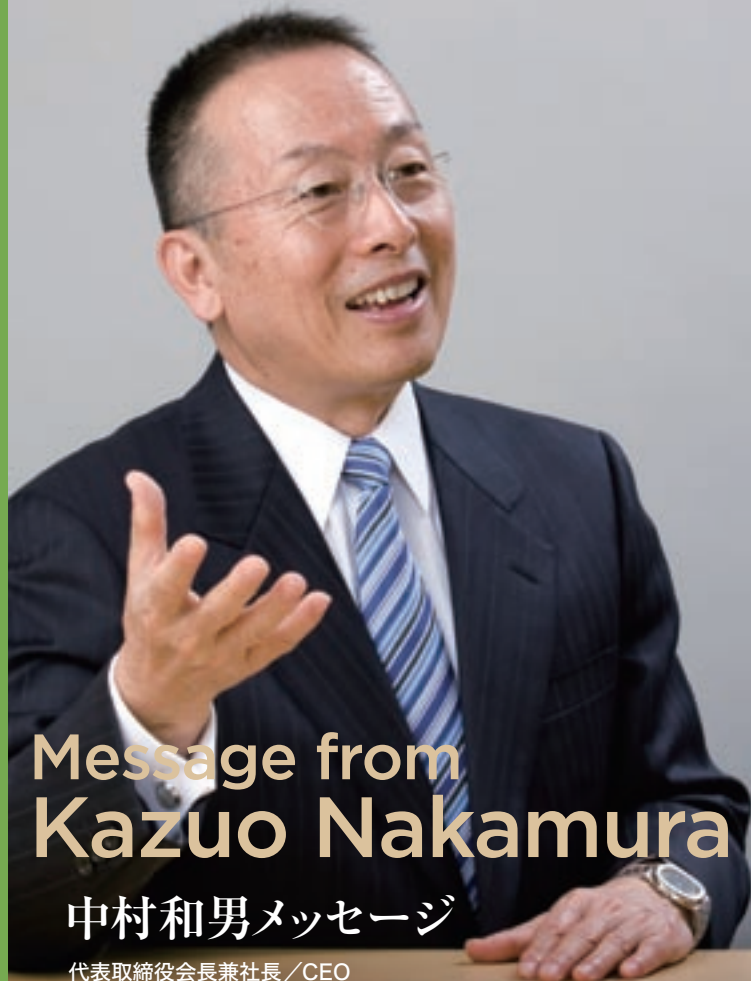
シミック株式会社 第25期 ビジネスレポート  
2008.10.1 - 2009.9.30

今日、そして明日へ

シミックは医薬品産業を通じてEBMの確立に貢献し続けます。

# 医薬品産業を通じて 人々に貢献する企業へ

シミックグループは、医薬品の研究開発から製造、営業・マーケティングまで幅広く支援できるPVC(ファーマシューティカル・バリュー・クリエイター)のビジネスモデルを通して、製薬企業の信頼される戦略的パートナーとして、人々の健康に貢献していきます。



## Message from Kazuo Nakamura

### 中村和男メッセージ

代表取締役会長兼社長／CEO

#### CONTENTS

CEO中村和男メッセージ	01	会社概要	26
セグメント別事業概要	08	株式の状況	27
CMIC Topics	18	株主メモ	28
業績ハイライト	21	healthクリックの健康コラム	29
連結財務諸表	22		

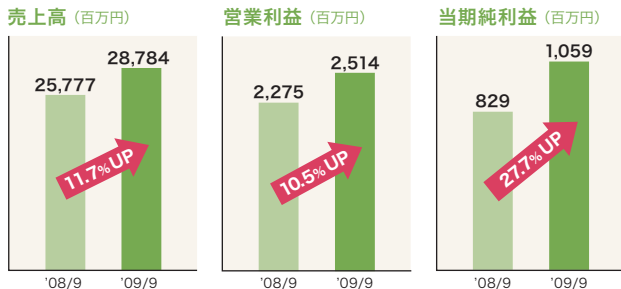
事業基盤の拡充や個々のサービスの強化を図りながらCRO事業、CMO事業、CSO事業、ヘルスケア事業の各事業において増収を達成。グループ業績に貢献しました。

当レポートに記述されている業績予想並びに将来予測等は、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

## Q1 2009年9月期の業績について教えてください。

**A** 医薬品業界においては、政府の医療費抑制策の推進や主力製品の特許切れ問題などを背景に、バイオベンチャー買収などの大型M&Aが活発化するなど、新薬開発のための世界的な競争が進んでいます。医薬品開発支援（CRO）市場については、製薬企業の研究開発費増加や開発のスピードアップ・効率化を目指したアウトソーシング化の推進を背景として、緩やかな拡大傾向にあります。そのような環境において、2009年9月期のシミックグループは、増収増益を継続しました。

### 業績の要約（連結）



## Q2 医薬品開発支援（CRO）事業の課題、今後の展開について教えてください。

**A** 製薬企業の経営効率化や新薬の研究開発の活性化が進むと見込んでおり、厚生労働省の「新たな治験活性化5カ年計画」においては、先進諸外国並みのコスト・スピード・質の達成が計画として挙げられています。そのなかで、シミックグループでは、臨床試験の生産性の向上を課題とし、追求していきます。第一に、治験スピードを高め、高品質な治験結果を得るため、SMO事業との戦略的シナジーを創出していきます。また、シミックグループは、グローバルCROとの提携により国際治験・アジア治験で豊富な実績を誇りますが、一

層国際治験・アジア治験の受託強化を図ります。さらに、治験IT化への対応も推進し、臨床試験の生産性向上を目指してまいります。

### 医薬品開発支援（CRO）事業の戦略的課題



## Q3 直近の医薬品製造支援（CMO）事業の動きについて教えてください。

**A** 2005年に開始したCMO事業は、現在変革期を迎えています。2009年7月、シミックは、第一三共グループ静岡工場の譲り受けに関する基本合意書の締結を発表しました。本静岡工場は、2010年4月にグループ化の予定であり、シミックグループは、ほぼ全ての剤形が受託可能な国内最大級のCMOになります。その結果、医薬品製造のファブレス化やアウトソーシング化を進めるクライアントに対し、これまで以上に多種多様なニーズに柔軟かつ迅速に応えられるようになり、CMO事業は、CRO事業に次ぐ大きな収益基盤の主力事業となります。

### シミックの目指すCMO



## Q4 シミックグループのビジョン・方向性を教えてください。

**A** シミックグループでは、開発から製造、販売まで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、当社独自のビジネスモデルであるPVC(Pharmaceutical Value Creator)のもと、製薬企業の価値最大化の支援に取り組んでいます。また、今後は顧客層を製薬企業からヘルスケア産業全般に拡大することで、より多くの人々の健康維持・向上に貢献できるグループを目指してまいります。

シミックグループでは、2015年に売上高1,000億円の達成を目指して、成長基盤を拡充し、持続的な企業価値向上を図ってまいります。



## ビジョンと方向性

製薬企業のパートナーからヘルスケア全般に貢献する付加価値創造企業へ

### 1st ステージ

日本における  
CROのパイオニア

CRO(医薬品開発支援)事業  
の立ち上げ

1992 日本で最初のCROとして  
本格的に事業開始

1994 CRO4社にて「日本CRO  
協会」を発足

### 2nd ステージ

PVCとして事業多角化と  
グローバル展開

新GCP<sup>※1</sup>公布と改正薬事法<sup>※2</sup>施行  
を追い風に事業領域を拡大

2000 CSO事業開始

2005 CMO事業開始

### 3rd ステージ

HVC<sup>※3</sup>として社会に  
必要とされる企業へ

病気の予防と治療、生活の  
維持向上への貢献を目指す

2004 ヘルスケア情報サービス  
事業開始

2008 大手SMO サイトサポート・  
インスティテュート(株)  
子会社化

事業領域と規模の  
拡大により、

2015年に  
売上高1000億円  
を目指します。

※1.新GCP:1997年公布。CROが初めての法的な位置づけを得た。

※2.改正薬事法:2005年施行。許可制度が製造承認から製造販売承認へ移行となった。

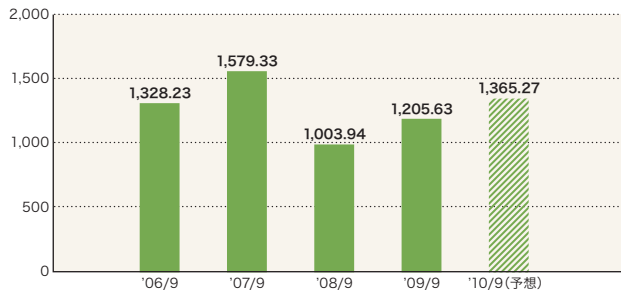
※3.HVC(Healthcare Value Creator):患者中心の医療に貢献するプロ集団

## Q5 最後に、株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A シミックでは、財務基盤と企業体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益配分を図ることが経営の最重要課題であると考えています。利益配分については業績に応じた成果配分を行うことを基本とし、2010年配当計画は、年間普通配当を46円増額し、年間配当380円を予定しています。引き続き、目標である年間配当性向30%を目指し、株主の皆さまに還元してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、日頃からご支援やご鞭撻を頂き、厚く御礼申し上げます。今後とも企業価値の向上に邁進してまいりますので、当社の事業方針にご理解とご期待をいただき、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一株当たり当期純利益の推移 (円)



配当金の推移 (円)



■配当金 ○配当性向

## 用語解説

### 臨床試験

薬の効き目や安全性を調べるために、患者さんや健康な人に使用し、それが本当に治療に役立つ薬なのかどうかを確認する試験のこと。

### 治験

国(厚生労働省)から、医薬品として製造や輸入などの許可を得るために行う試験のこと。

### SMO

医療機関で被験者のケアや同意取得補助など治験実施をサポートする業務や治験事務局業務など、医療機関の治験に関わる業務を受託・代行。



# セグメント別事業概要

## CRO (医薬品開発支援) 事業 Contract Research Organization

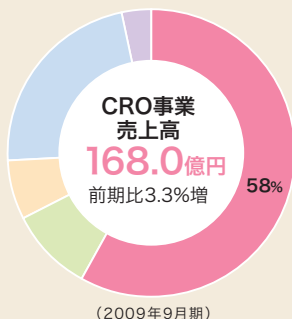
国内外で豊富な実績を活かし  
リーディング・ポジションを堅持

### ●事業内容

主に製薬企業などに対し臨床試験などに関する専門的なサービスを提供する事業です。

### ●市場環境

製薬企業の研究開発費増加や開発のスピードアップ、効率化を目的としたアウトソース化の推進で順調に拡大しています。



## CSO (医薬品販売支援) 事業 Contract Sales Organization

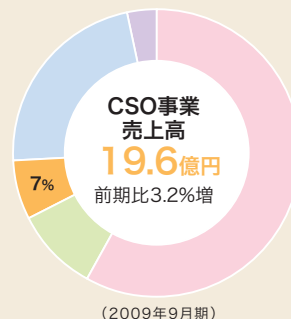
コンサルティング力・総合力で  
MR派遣先が増加

### ●事業内容

MR派遣、販促資材の企画・制作など、医薬品の営業・マーケティングを支援する事業です。

### ●市場環境

製薬企業の経費削減の影響を受けながらも市場は緩やかに拡大しています。



## CMO (医薬品製造支援) 事業 Contract Manufacturing Organization

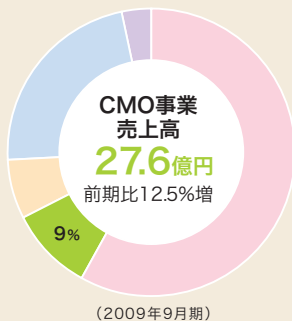
日米韓の3極体制で治験薬および  
医薬品のグローバル生産体制を構築

### ●事業内容

製薬企業などから医薬品などの製造業務を受託する事業です。

### ●市場環境

製造受託に関する規制環境の整備、製薬業界のアウトソーシングニーズの高まりにより市場は2桁成長しています。



## ヘルスケア事業・他

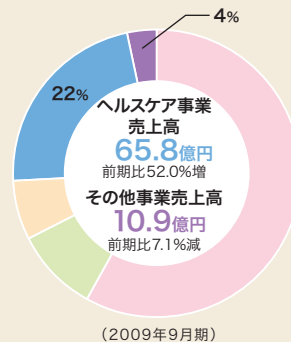
積極的なM&Aで医療機関の  
ネットワークを強化

### ●ヘルスケア事業

主に医療機関・製薬企業などの治験を含む医療サービス、患者、一般消費者の健康維持・増進を支援する事業です。

### ●その他事業

新規事業や研究開発に係る業務を行っています。



# CROカンパニー

## CRO(医薬品開発支援)事業

CROカンパニー長

中村宣雄

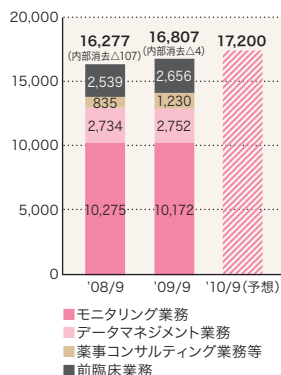
Nobuo Nakamura



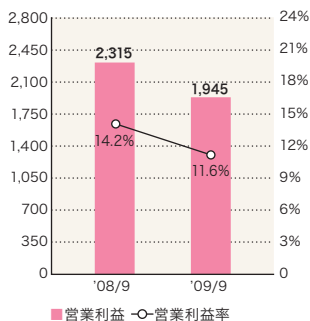
### 当期の概況

2009年9月期のCRO事業については、モニタリング業務による顧客都合によるプロジェクトの遅れが影響したものの、EDC (Electronic Data Capture: 電子的に臨床データを収集するシステム) 関連業務や安全性情報業務が伸張し、売上高は微増となりました。営業利益率は、大型の臨床試験プロジェクトの開始の遅延、中止により稼働率が低下したため11%台に低下しました。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



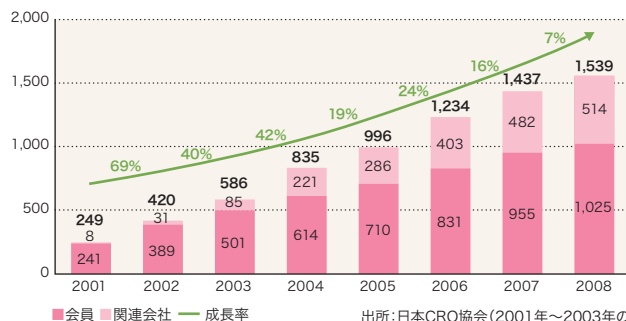
### 事業戦略

シミックグループのコア事業であるCRO事業の市場は、開発のスピードアップ、効率化を目指したアウトソーシングニーズの拡大を背景として、緩やかながらも順調に拡大しています。そのようななかでシミックグループは、CRO事業の主力となるモニタリング業務において、国内最大規模のモニター数を有しており、実績・シェアともにNo.1を誇っています。シミックグループ独自のビジネスモデルPVCを一層強化することにより、これまでの競争優位の持続・強化を図ります。

### 今後の課題

臨床試験の一層の効率化・スピードアップを目的に、医療機関側との連携強化によるモニタリング業務の生産性向上を図ります。また、国内外製薬企業などの米・欧・アジア同時開発を支援するため、欧米については提携CROと連携し、アジアにおいてはシミックグループ海外子会社を中心に、市場開拓や臨床試験支援を行います。そして、治験IT化も一層進めていながら、データマネジメント業務の受託も強化し、利益率の向上を図ってまいります。

日本のCRO市場(CSOは除く) (億円)



出所: 日本CRO協会(2001年~2003年の実績に、非臨床は含んでおりません)

# CMOカンパニー

## CMO(医薬品製造支援)事業

CMOカンパニー長

市川邦英

Kunihide Ichikawa



### 当期の概況

CMO事業は、米国拠点CMIC-VPS Corporationにおいて大型の医療用医薬品の受託製造が開始されたことにより、売上高は増加しました。営業利益は、CMIC-VPS Corporationが黒字化しましたが、一方で事業の基盤強化のためインフラ整備、要員増強等を行ったため、営業損失となりました。

### 事業戦略

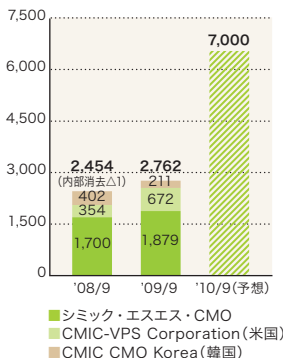
2009年7月に、第一三共グループから静岡工場を譲り受けることで基本合意しました。2010年4月の営業開始に向けて、準備を進めています。現在シミックグループでは、シミック・エス

エス・CMO(株)(日本・富山)、CMIC CMO Korea Co., Ltd.(韓国)、CMIC-VPS Corporation(米国)と、3か国で3つの工場を運営しています。高い品質と柔軟かつ安定した生産供給で多くの信頼と実績を築きながら、受託剤形の拡大、なかでも固形製剤・注射剤の国内生産を目的とした工場取得の必要性について検討を進めていました。静岡工場は、第一三共グループの基幹工場として高い生産技術を誇っており、シミックグループは、静岡工場を取得することで国内最大級のCMOとなり、ほぼ全ての剤形が受託可能になります。

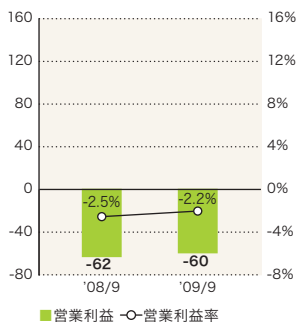
### 今後の課題

2010年9月期よりグループ化予定の静岡工場において、第一三共グループからの製造受託を行うとともに、他の製薬企業の新規受託獲得に向けて営業を強化してまいります。医薬品製造のファブレス化やアウトソーシング化を進める顧客に対し、これまで以上に多種多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう事業を拡大していきます。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)





## CMO(医薬品製造支援)ビジネスの成長性

CMOは年率2桁成長の高成長市場です。シミックグループはこの収益機会を確実にとらえるため、2005年から他社に先駆けてグローバルな生産体制を整備。2010年9月期においては第一三共プロファーマ(株)からの静岡工場譲受で、さらに受注体制を強化していきます。

### 成長市場における収益体制の確立

シミックグループは、2005年の改正薬事法施行を機に、製造受託ビジネスに参入。以来、製薬会社のアウトソースニーズを取り込み、積極的に事業を展開しています。

### グローバルな生産体制の 確立による収益拡大へ

#### ●CMO市場の成長性

2005年の改正薬事法施行で製造の完全アウトソースが可能に

毎年  
2桁  
成長

#### ●製薬企業のニーズ

2010年問題<sup>※</sup>対応

高品質製品の安定供給

多品種少量生産

新製剤開発

ファブレス化による  
コスト削減と生産量  
の変動に円滑に  
対応するための

**アウトソースの  
積極活用**

過去～現在

**CMO事業は  
主力事業へと成長**

09年度売上高

**27.6億円**

06年度比:

**505.7%増**

売上構成比:

**2.6% ▶ 9.5%**

将来像

**国内最大級の  
受託製造会社へ**

中期ビジョン

- 高品質・多品種少量生産
- 国内最大級の受託製造会社
- 高度な製剤技術と開発力

目指す姿

- 治験薬製造、商業生産の一貫受託
- 製薬会社の生産部門の一括受託
- グローバル生産体制の確立

CMO事業の  
中期売上目標

**130**億円  
の達成

※大型の医薬品が多数特許切れする問題

### 高品質、機動力のあるグローバル生産体制へ

CMO市場の成長性に注目し、高品質かつ機動力のある体制を目指し、韓国・日本・米国へと生産拠点を拡大しています。

### CMO事業の中期ビジョン達成に向けて 静岡工場譲受で受注拡大へ

2005年  
**CMIC CMO  
Korea**  
[韓国]

高品質・低コスト製造



2006年  
**シミック・エスエス・  
CMO(株)**  
[日本・富山]

軟膏・クリーム剤等の  
効率的な生産



2007年  
**CMIC-VPS  
Corporation**  
[米国]

多品種少量生産に  
適したCGMP対応施設



2010年  
**シミックCMO(株)[静岡新会社]**  
営業開始  
(2010年4月営業開始予定)

- 生産可能剤形<sup>※</sup>の拡大
- グローバルに通用する  
高度な技術力の蓄積
- スケールメリットによる  
受託製造の拡大

※固形剤(錠剤、散剤、カプセル剤)、注射剤など



# CSOカンパニー

## CSO(医薬品販売支援)事業



CSOカンパニー長

佐野 極

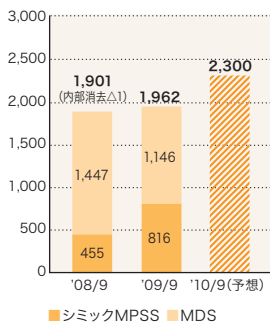
Takashi Sano

### 当期の概況

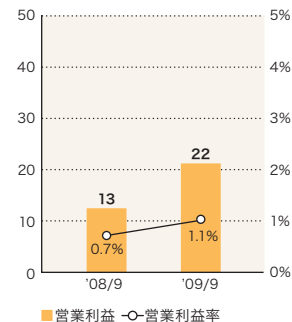
CSO事業は、エムディエス(株)による販促資材企画・制作等の業務が外資製薬企業を中心とした顧客の経費削減の影響を受け減収となりましたが、(株)シミックMPSSによるMR(医薬情報担当者)派遣業務が順調に拡大し、増収となりました。

今後、販促資材企画・制作等の業務においては、営業体制を強化し、新規案件受託獲得を図っていきます。また、MR派遣業務においては、MR人員増加と新規案件受託、サービスの拡充による他社差別化で業績拡大を目指します。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



# ヘルスケアカンパニー

## ヘルスケア事業



ヘルスケアカンパニー長

安田利正

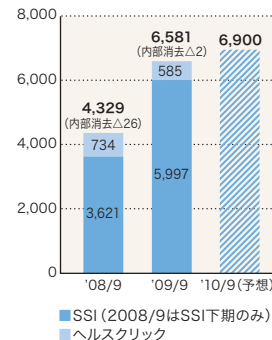
Toshimasa Yasuda

### 当期の概況

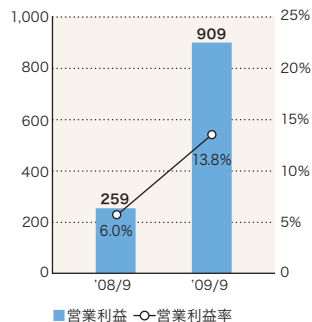
2008年4月に子会社化したサイトサポート・インスティテュート(株)(SSI)の通期の業績が加わったことにより、売上高は大幅に増加しました。SSIは医療機関ネットワークの強化のため関東の中堅SMOであったメディカルトライアルズ(株)を2009年6月に吸収合併、さらには神戸・松山・大分・長崎に業務の拠点を新規開設し、営業体制を大幅に強化いたしました。

今後、ヘルスケア情報サービス業務(ヘルスクリック)においてはコスト構造の改善を、SMO業務(SSI)においては、日本最大のSMOとして、提携医療施設数の増加等による受託競争力の強化に取り組んでいきます。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



## トピックス1

### 国内未承認薬 Normosang®の開発

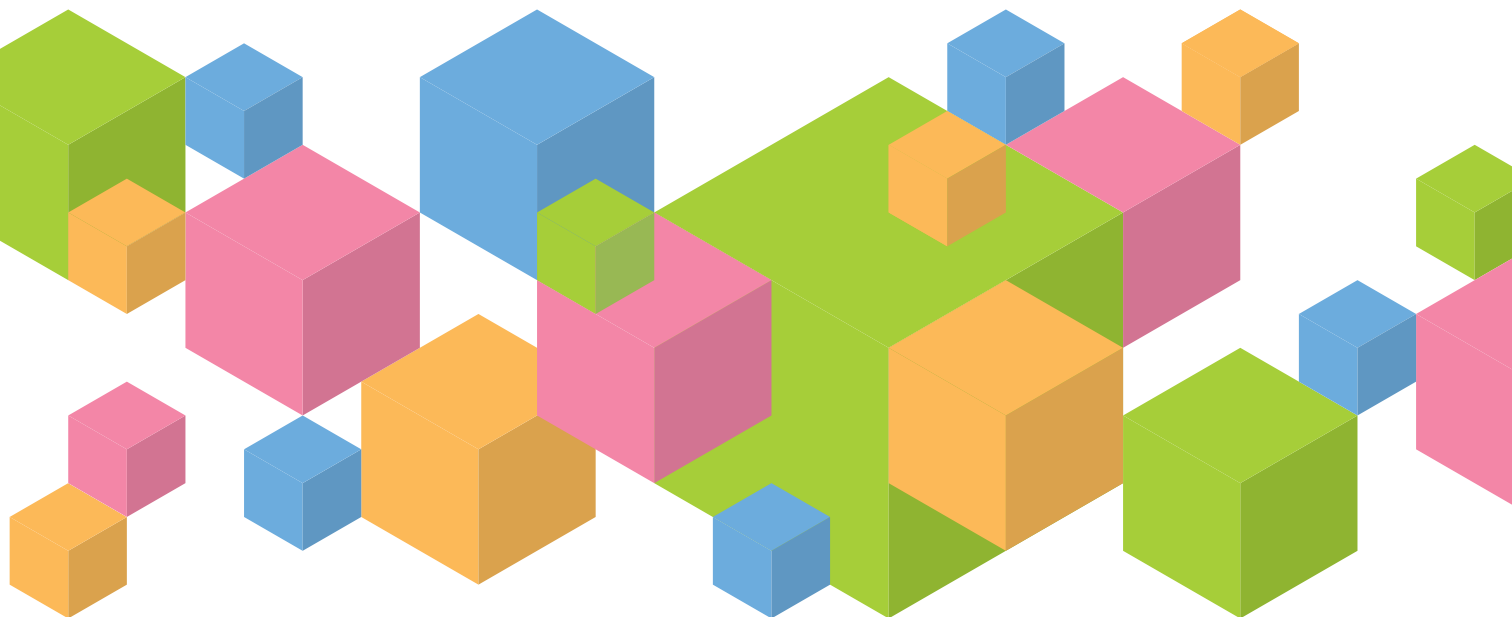
シミックでは、IPD(知的財産開発)事業の一環として、遺伝子の異常に基づく血液の病気である急性ポルフィリン症を対象としたNormosang®の国内開発準備を進めています。

Normosang®は、2008年12月に仏オーファンヨーロッパ社とライセンス契約を締結し取得した希少疾病用医薬品です。この未承認薬は、患者団体の積極的な活動により、厚生労働省の未承認薬開発支援の対象品目に決定しています。このように臨床ニーズが高いにもかかわらず何らかの理由により開発が見送られてきた医薬品の開発に着手することで、社会へ貢献する企業を目指してまいります。

## トピックス2

### L-FABP診断薬の 開発

シミックでは、IPD事業の一環として腎疾患診断薬であるL-FABPを自社で開発しています。腎疾患の進行を予測する体外診断薬です。現在、申請中であり審査を得て承認を得た場合は、知的財産開発案件の第一号としてロイヤリティ収入が期待できます。また、海外向けには慢性腎臓病用バイオマーカーとして特許のライセンスアウトを検討しています。



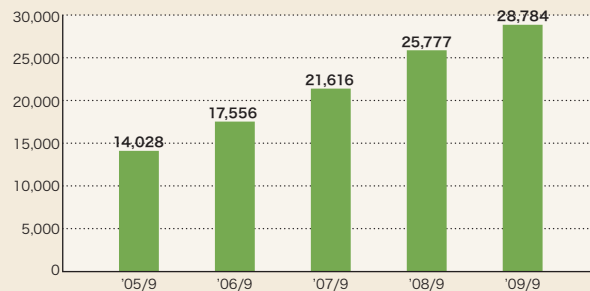
# Financial Section

©Shigeru Oono

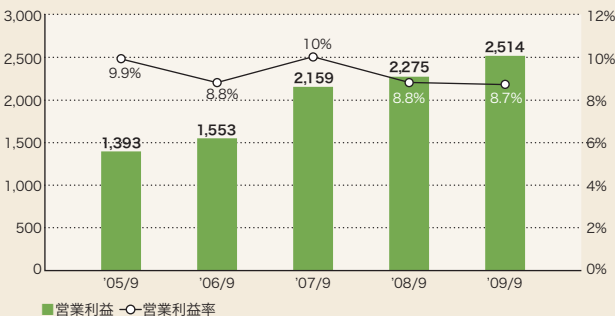
## 業績ハイライト

シミックグループは2009年9月期、売上高・利益ともに前期比10%以上の増収増益となりました。

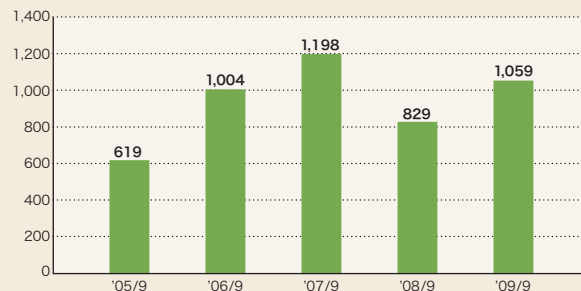
売上高 (百万円)



営業利益および営業利益率 (百万円)



当期純利益 (百万円)



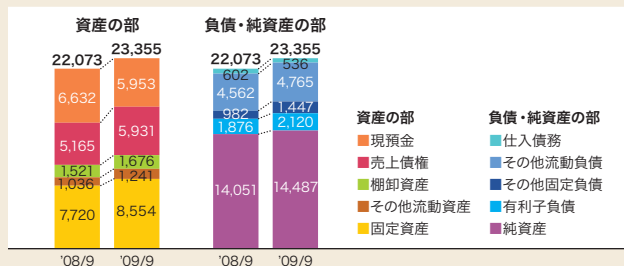
# 連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当期	前期
	2009年9月30日現在	2008年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,800,925	14,352,818
固定資産		
有形固定資産	5,002,061	4,513,693
無形固定資産	1,292,634	1,195,989
投資その他の資産	2,259,548	2,010,656
固定資産	8,554,244	7,720,340
<b>1 ▶ 資産合計</b>	<b>23,355,170</b>	<b>22,073,159</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,729,759	5,793,878
固定負債	2,138,571	2,228,167
<b>2 ▶ 負債合計</b>	<b>8,868,330</b>	<b>8,022,046</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,714,752	13,266,520
評価・換算差額等	△ 205,974	△ 131,493
少数株主持分	978,061	916,085
<b>3 ▶ 純資産合計</b>	<b>14,486,839</b>	<b>14,051,112</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,355,170</b>	<b>22,073,159</b>

- 1 ▶ 資産合計: 有形固定資産の取得によるもの  
 2 ▶ 負債合計: 短期借入金増加によるもの  
 3 ▶ 純資産合計: 利益剰余金の増加と自己株式の取得によるもの

簡易貸借対照表 (百万円)

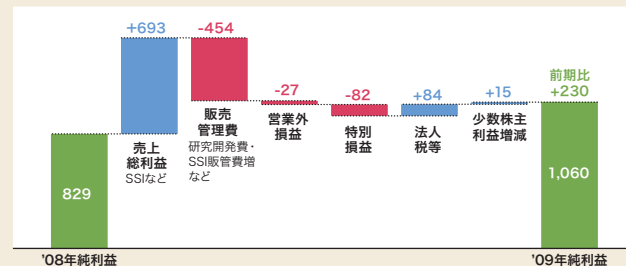


連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当期	前期
	2008年10月1日から 2009年9月30日まで	2007年10月1日から 2008年9月30日まで
売上高	28,784,828	25,777,297
売上原価	20,927,192	18,612,767
売上総利益	7,857,636	7,164,530
<b>4 ▶ 販売費及び一般管理費</b>	<b>5,343,404</b>	<b>4,889,449</b>
営業利益	2,514,231	2,275,080
<b>5 ▶ 営業外収益</b>	<b>108,431</b>	<b>159,988</b>
<b>5 ▶ 営業外費用</b>	<b>222,503</b>	<b>247,475</b>
経常利益	2,400,160	2,187,594
特別利益	1,200	889
特別損失	165,206	83,083
税金等調整前当期純利益	2,236,153	2,105,400
<b>7 ▶ 法人税、住民税及び事業税</b>	<b>1,333,660</b>	<b>1,367,276</b>
法人税等調整額	△ 251,766	△ 201,494
少数株主利益	94,573	109,918
当期純利益	1,059,684	829,699

- 4 ▶ 販売管理費: SSIの半年分の増加とシミック本体の開発費の増加によるもの  
 5 ▶ 営業外損益: 為替差損などによるもの  
 6 ▶ 特別損失: 投資有価証券の減損などによるもの  
 7 ▶ 法人税: 赤字子会社の赤字の減少によるもの

当期純利益前期比増減要因 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

科目	当期	前期
	2008年10月1日から 2009年9月30日まで	2007年10月1日から 2008年9月30日まで
8▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,468,702	1,632,419
9▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,360,625	△1,572,761
10▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△632,033	△733,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,773	△79,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△557,729	△752,642
現金及び現金同等物の期首残高	6,070,677	4,505,932
新規連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,317,387
現金及び現金同等物の期末残高	5,512,948	6,070,677

8▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益によるもの  
9▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有形固定資産及び無形固定資産の取得  
のための支出によるもの  
10▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
短期借入金、長期借入金の返済及び配  
当金の支払によるもの

連結株主資本等変動計算書(要旨) (単位:千円)

当期 2008年10月1日から 2009年9月30日まで	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年9月30日残高	3,087,750	5,960,881	4,254,539	△36,650	13,266,520	△131,493	△131,493	916,085	14,051,112
<b>連結会計年度中の変動額</b>									
在外子会社の会計処理の 変更に伴う増減	—	—	33,861	—	33,861	—	—	—	33,861
剰余金の配当	—	—	△118,896	—	△118,896	—	—	—	△118,896
剰余金の配当(中間配当)	—	—	△146,783	—	△146,783	—	—	—	△146,783
当期純利益	—	—	1,059,684	—	1,059,684	—	—	—	1,059,684
自己株式の取得	—	—	—	△379,790	△379,790	—	—	—	△379,790
自己株式の処分	—	△0	△0	155	155	—	—	—	155
株主資本以外の項目の 当期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△74,481	△74,481	61,976	△12,505
<b>当期の変動額合計</b>	—	△0	794,005	△379,634	414,370	△74,481	△74,481	61,976	401,865
2009年9月30日残高	3,087,750	5,960,881	5,082,406	△416,285	13,714,752	△205,974	△205,974	978,061	14,486,839

# 会社概要

2009年9月30日現在

商号	シミック株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	北海道支社 名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	2,759名(連結)
グループ会社 (連結子会社) 2009年10月1日現在	(株)シミックBS (株)シミックMPSS (株)ヘルスクリック (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC BRASIL PESQUISAS CLÍNICAS LTDA. サイトサポート・インスティテュート(株) エムティエス(株) シミック・エスエス・CMO(株) CMIC-VPS Corporation CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC Asia-Pacific, Pte. Ltd.
持分法適用会社	富士フィルム・シミック ヘルスケア(株)

## 役員 (2009年12月15日現在)

代表取締役会長兼社長	中村和男	
代表取締役	中村宣雄	
取締役	市川邦英 中村圭子 中村 紘	清水政男 佐野 極
取締役(社外)	原 護	
常勤監査役	石丸昭雄	
監査役	堀井宏晃	
監査役(社外)	酒井 繁	種房俊二

# 株式の状況

2009年9月30日現在

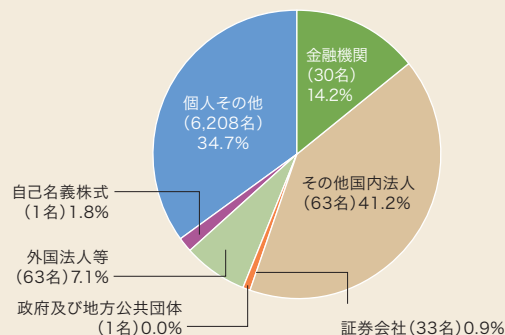
発行可能株式総数	2,300,000株
発行済株式総数	894,957株
株主数	6,399名

## 大株主

株主名	株主数(株)	持株比率(%)
株式会社アルテミス	318,410	36.22
中村和男	95,386	10.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	66,430	7.55
株式会社キースジャパン	35,972	4.09
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ノーザン トラストガンジー アイリッシュ クライアantz	19,100	2.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	17,300	1.96
資産管理サービス信託銀行株式会社	17,250	1.96
シミック従業員持株会	14,837	1.68
野村信託銀行株式会社	13,660	1.55
みずほキャピタル株式会社	10,000	1.13

(注) 1. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下2位を切り捨てております。  
2. 当社は、2009年9月末現在で自己株式を16,013株所有しておりますが、上記表からは除外しております。

## 所有者別の構成比率(株式数比率)



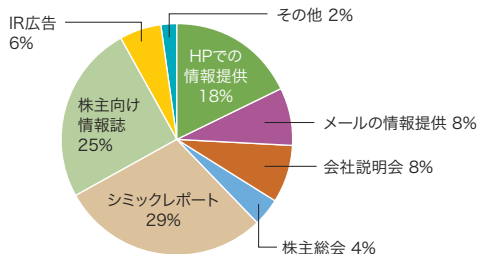
# 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	10株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子広告 ( <a href="http://www.cmico.jp">http://www.cmico.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株主アンケートのご報告

2009年9月期中間シミックレポートにてご案内いたしましたアンケート調査において、多くの株主の皆さまより貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。今後も株主の皆さまのご期待に沿えるよう企業努力を続けてまいります。

### IR活動について充実を希望すること



# healthクリックの健康コラム

昨今騒がれている新型インフルエンザ。症状や予防方法を理解して、早めの治療と日頃からの予防を心がけることが大切だ。

ここで、流水で手を洗う「スクラブ法」をご紹介します。しっかりとマスターして、外から帰ったら石けんと流水でしっかりと手を洗い、インフルエンザを予防しよう。



手を流水でよくぬらす



液体石けんを手のひらにとる



手のひらを洗う



手の甲を洗う



指をかまらせて指の間を洗う



片方をじゃんけんのグーの形にし、その手の指の背や爪の部分洗う



親指をもう片方の手のひらで包み、親指をくるくると回すように洗う



指先、爪の部分をよく洗う



手首をもう片方の手のひらで包み、手首をくるくると回すように洗う



流水でよく洗い流し、ペーパータオルや乾燥し清潔なタオルで拭く



「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご活用ください。

PC版 <http://www.health.ne.jp/>

携帯版 <http://health.ne.jp/>







©Shigeru Oono

## シミック株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル

Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077 <http://www.cmic.co.jp/>